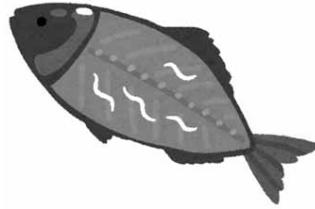




「アニサキス症」について

4月から大間病院に勤務となりました医師の斉藤孝幸です。よろしくお願ひします。



さて、ここ大間町では魚介類を食べる機会が多いと思いますので、魚介類の食中毒の一つである「アニサキス症」についてお話ししようと思います。

アニサキスとは寄生虫の一種で、大きさは2～3cmで白色の少し太い糸のように見えます。主にイカ、サケ、サバ、アジ、サンマなどの魚介類に寄生します。寄生されている魚介類を生で食べることで、アニサキスが胃や腸に刺さり食中毒を引き起こします。主な症状としては、食後数時間後にみぞおちに激しい痛みや吐き気が出現します。また、同時に蕁麻疹などのアレルギー症状を起こす方もいます。もしこの病気にかかった場合、治療は胃カメラを使って虫体を直接取り除くことになります。治療しなくても1週間程度で虫体が死滅するので自然に改善す



かかった場合、治療は胃カメラを使って虫体を直接取り除くことになります。治療しなくても1週間程度で虫体が死滅するので自然に改善す

るのがほとんどですが、治療することでお腹の痛みがすぐによくなることと、まれに重症化することから病院受診をお勧めします。

アニサキス症はみなさんに気を付けていただくことで予防が可能な病気です。主な予防方法としては下記のとおりです。

- ① 新鮮な魚を選ぶ
- ② 目で見て確認する
- ③ 生食を避ける（-20℃で24時間以上冷凍、もしくは70℃以上で加熱する）

勘違いしやすいのがシメサバです。酢に漬けているから大丈夫と考えがちですが、一般的な料理で使用する食酢や塩漬け、醤油やわさびではアニサキスは死滅しません。一度冷凍することをお勧めします。

例年、全国では春から夏にかけてアニサキス症の発生数が増加する傾向です。食中毒にかからないようにみなさんには気を付けていただければと思います。



大間病院からのお知らせ ～整形外科および外科の外来診療について～

このたび、むつ総合病院より診療支援を受けることになり、令和2年4月より整形外科および外科の外来診療を行っています。診療日・受付時間は以下のとおりです。

診療科	診療日	受付時間
整形外科	毎週 火曜日	午前8時15分～午前10時30分
外科	毎週 木曜日	

【お問合せ】 国民健康保険 大間病院 ☎ 37-2105